

1 水質調査（令和 7 年度調査）潮止堰倒伏後

1.1 センサー測定

(1) 目的

塩水遡上の現況を把握するために、各測定地点においてセンサー測定機器を用いて塩分等の水質測定を実施した。

(2) 測定方法

① 測定概要

測定の概要を表 1.1-1 に示す。

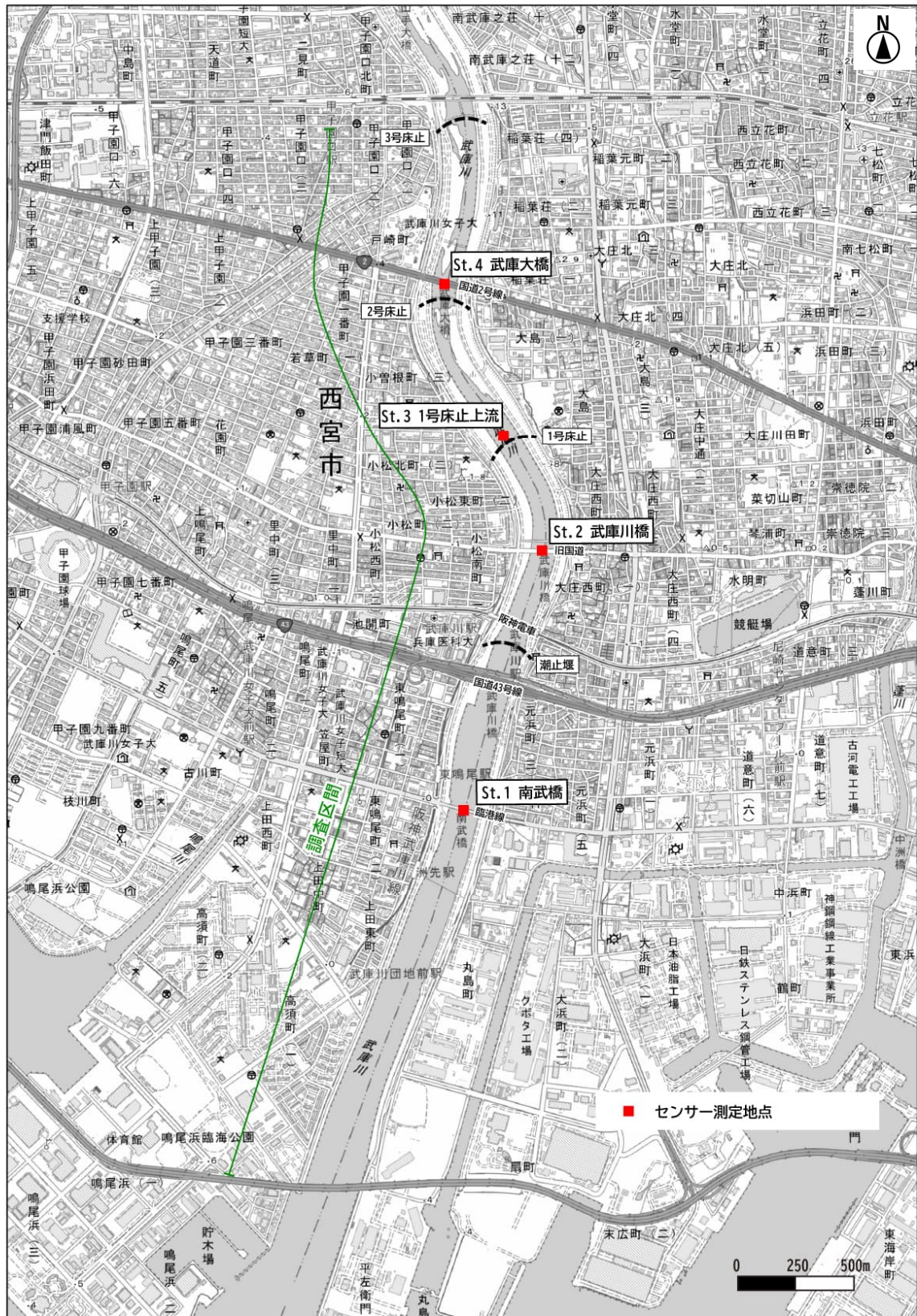
表 1.1-1 センサー測定概要

項目	内容		
測定地点	4 地点（図 1.1-1） St.1：南武橋（甲子園尼崎線）、St.2：武庫川橋（旧国道）、St.3：1 号床止上流、 St.4：武庫大橋（国道 2 号）		
測定時期	3 季（夏、秋、冬）×3 潮（大潮、中潮、小潮）		
	季節	潮名	測定日
	夏季	大潮	令和 7 年 7 月 10 日（木）
		中潮	令和 7 年 7 月 15 日（火）
		小潮	令和 7 年 7 月 18 日（金）
	秋季	大潮	令和 7 年 10 月 24 日（金）
		中潮	令和 7 年 10 月 27 日（月）
		小潮	令和 7 年 10 月 29 日（水）
	冬季	大潮	令和 8 年 1 月 20 日（火）
		中潮	令和 8 年 1 月 23 日（金）
小潮		令和 8 年 1 月 26 日（月）	
測定時間	各潮時に 12 時間の間に 2 時間おきに 6 回測定。 測定は原則昼間の時間帯とし、St.1 が 7：00 測定開始となるように実施した。		
測定項目	塩分、水温		
測定方法	センサーによる測定（鉛直方向に 0.5m ピッチ） 〔 St.1、St.2、St.4：橋上より測定。 〔 St.3：護岸より測定。		

※潮名は、電子潮見表 2025 年版（一般財団法人日本水路協会）、電子潮見表 2026 年版（一般財団法人日本水路協会）に従った。

② 測定地点

測定地点を図 1.1-1 に示す。



出典：国土地理 Web。電子国土基本図を加工して作成。

図 1.1-1 センサー測定地点

(3) 測定結果

① センサー測定結果概要

センサーによる測定結果の概要を表 1.1-4 に、測定結果の総括を表 1.1-5、表 1.1-6 に、測定結果一覧を図 1.1-6、図 1.1-7 に示す。また、St.1（南武橋）における塩分・水温の鉛直分布を表 1.1-7～表 1.1-9 に示す。

St.1～St.3 ではいずれかの季節において塩分が確認された。特に St.1 と St.2 では年間を通じて塩分が検出され、表層で濃度が低く、中層から底層で濃度が高くなる傾向にあった。St.3 では夏季に塩分が検出されなかったものの、秋季や冬季には検出され、なかでも秋季には特に高い塩分濃度が確認された。一方、St.4 では全季節を通じて塩分は検出されなかった。

表 1.1-4 各調査地点のセンサー測定結果概要

地点	結果概要
St.1 南武橋	・年間を通じて塩分濃度の変動が大きくなっており、表層で塩分濃度が低く、中～底層で高くなる傾向にあった。 ・夏季の小潮時（7:00）には全層で塩分が確認されず淡水化が確認されたが、これは 7/14～15 にかけての降雨の影響が反映された結果と考えられる。 ・秋季や冬季の大潮には測定時間中に淡水化することがなく、高塩分濃度の層が優占していた。 ・水温は秋季の表層でやや低い温度帯が確認されたが、各季節で比較的均一化しており、水温躍層はみられなかった。
St.2 武庫川橋	・年間を通じて塩分濃度の変動が比較的大きいことが確認された。 ・各季節の各潮ともに表層では塩分濃度が低く、中～底層にかけて高くなる塩分傾向が確認された。一方で、河川流入が海水の遡上を上回る時間帯には、塩分がほとんど確認されない状況もみられた。 ・夏季の小潮時には塩分が確認されなかったが、これは 7/14～15 にかけての降雨の影響が反映された結果と考えられる ・水温は秋季の表層でやや低い温度帯が確認されたが、各季節とも水温躍層はみられなかった。
St.3 1号床止 上流	・夏季には塩分は検出されなかったが、秋季と冬季には 10PSU 台の値が確認され、海水の遡上が生じていることが確認された。特に秋季の大潮には、最大で 29PSU が確認された。
St.4 武庫大橋	・いずれの季節においても塩分は検出されなかった。

②センサー測定結果

表 1.1-5 センサー測定結果_塩分（総括）

季節	地点	塩分の範囲（単位：PSU）			測定日
		大潮	中潮	小潮	
夏季	St.1_南武橋	1～27	<1～26	<1～26	大潮：R7.7.10 中潮：R7.7.15 小潮：R7.7.18
	St.2_武庫川橋	<1～21	<1～21	<1	
	St.3_1号床止上流	<1	<1	<1	
	St.4_武庫大橋	<1	<1	<1	
秋季	St.1_南武橋	22～33	1～33	12～33	大潮：R7.10.24 中潮：R7.10.27 小潮：R7.10.29
	St.2_武庫川橋	11～32	<1～29	1～31	
	St.3_1号床止上流	4～29	<1	<1～19	
	St.4_武庫大橋	<1	<1	<1	
冬季	St.1_南武橋	17～30	14～26	8～32	大潮：R8.1.20 中潮：R8.1.23 小潮：R8.1.26
	St.2_武庫川橋	10～22	1～19	1～15	
	St.3_1号床止上流	1～20	5～16	<1～13	
	St.4_武庫大橋	<1	<1	<1	

表 1.1-6 センサー測定結果_水温（総括）

季節	地点	水温の範囲（単位：℃）			測定日
		大潮	中潮	小潮	
夏季	St.1_南武橋	27.2～31.9	28.0～31.6	25.7～28.3	大潮：R7.7.10 中潮：R7.7.15 小潮：R7.7.18
	St.2_武庫川橋	27.7～31.9	27.3～31.9	25.8～28.3	
	St.3_1号床止上流	27.9～32.2	27.3～32.0	25.8～28.4	
	St.4_武庫大橋	28.1～31.6	27.3～31.5	25.8～28.0	
秋季	St.1_南武橋	20.5～22.8	18.7～22.5	17.2～22.5	大潮：R7.10.24 中潮：R7.10.27 小潮：R7.10.29
	St.2_武庫川橋	17.9～23.3	18.3～22.1	15.3～22.6	
	St.3_1号床止上流	16.2～22.9	18.3～20.5	15.3～21.0	
	St.4_武庫大橋	16.7～20.8	18.4～20.4	15.7～18.5	
冬季	St.1_南武橋	9.9～11.5	6.4～ 8.2	4.3～ 9.3	大潮：R8.1.20 中潮：R8.1.23 小潮：R8.1.26
	St.2_武庫川橋	9.2～11.0	3.9～ 8.4	3.8～ 7.4	
	St.3_1号床止上流	7.5～12.0	3.8～ 9.9	3.9～10.1	
	St.4_武庫大橋	8.1～ 9.4	3.1～ 7.2	4.1～ 6.1	

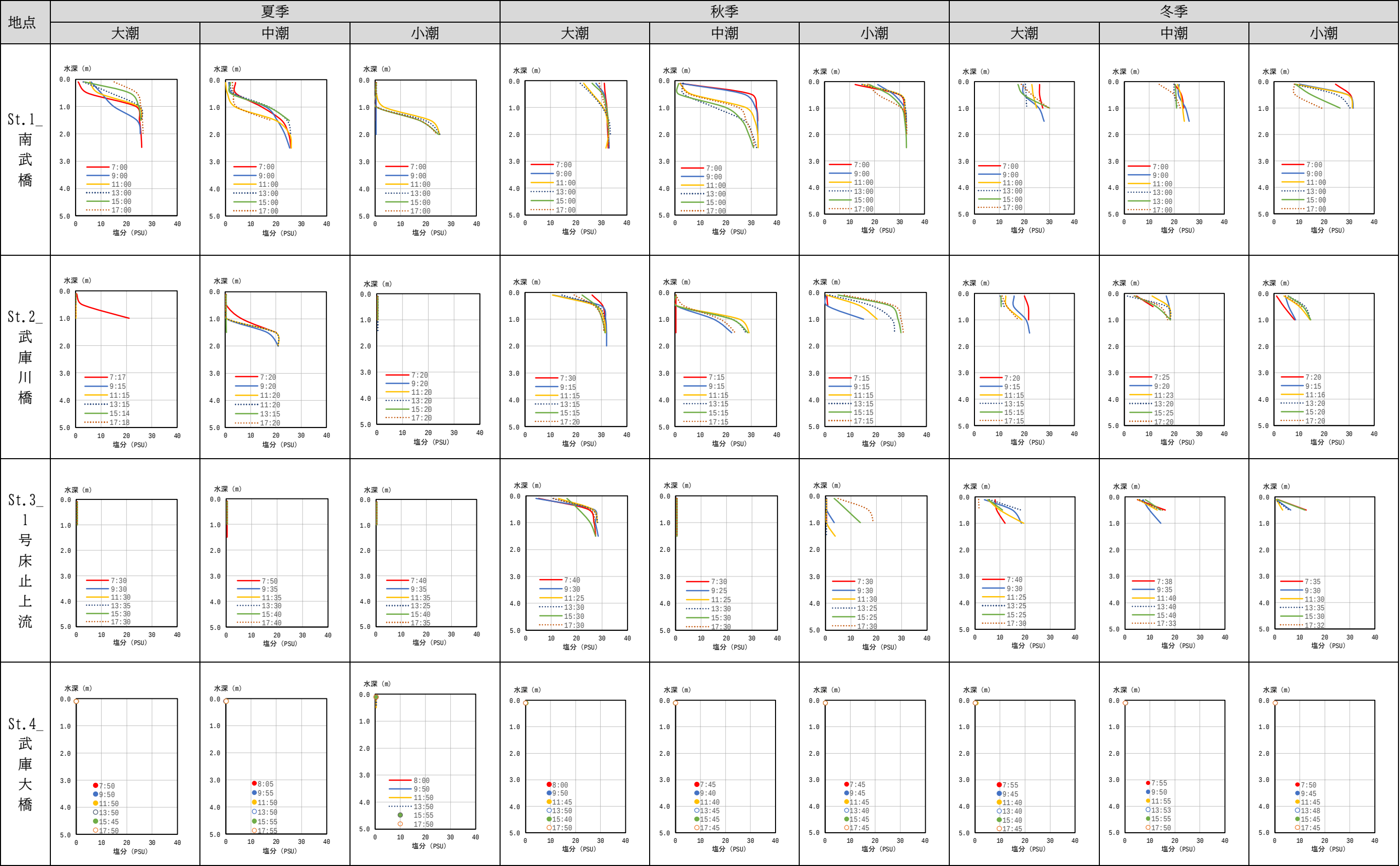


図 1.1-6 センサー測定結果一覧_塩分

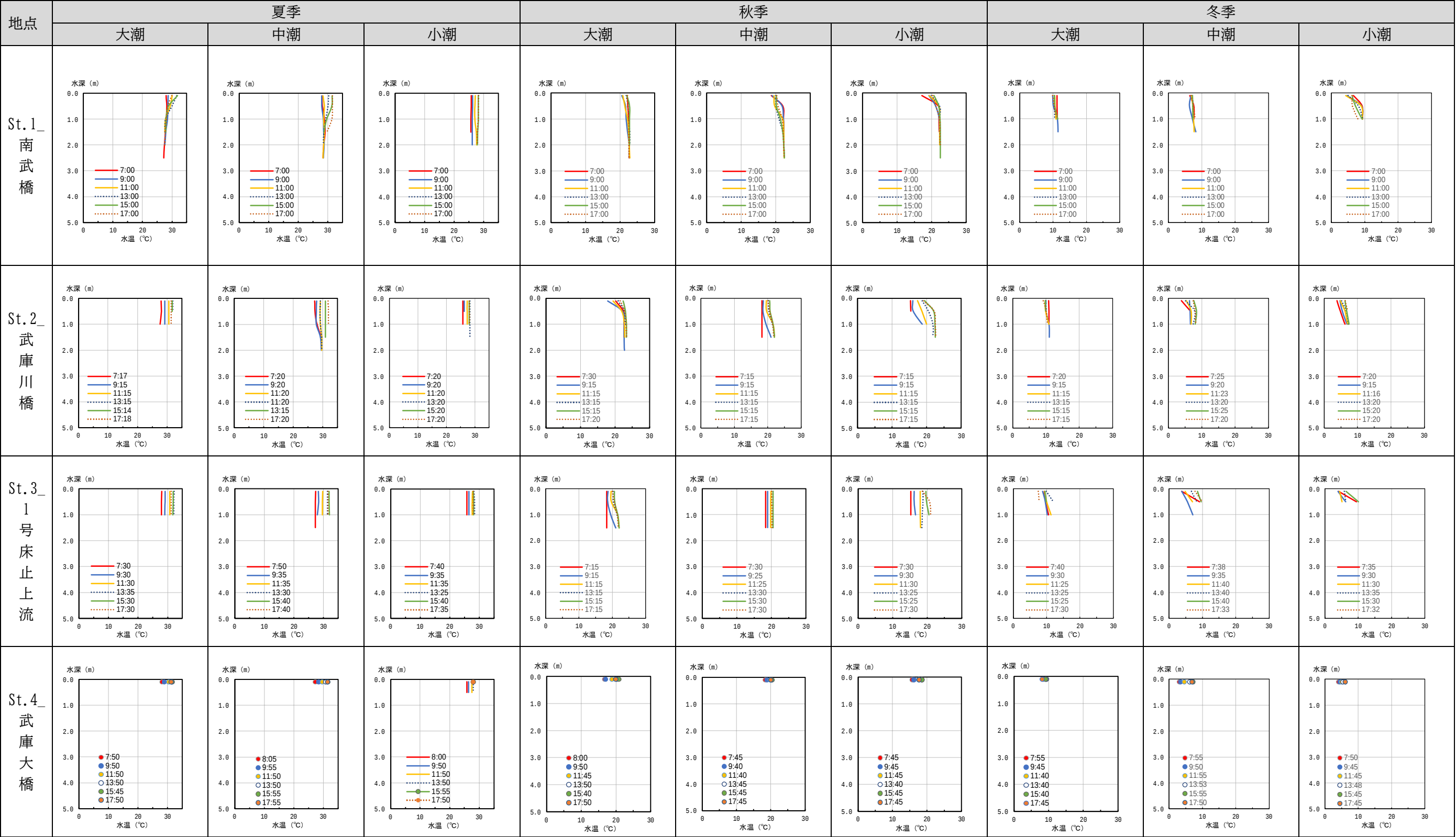


図 1.1-7 センサー測定結果一覧_水温

表 1.1-7 St.1（南武橋）における塩分・水温の鉛直分布【夏季】

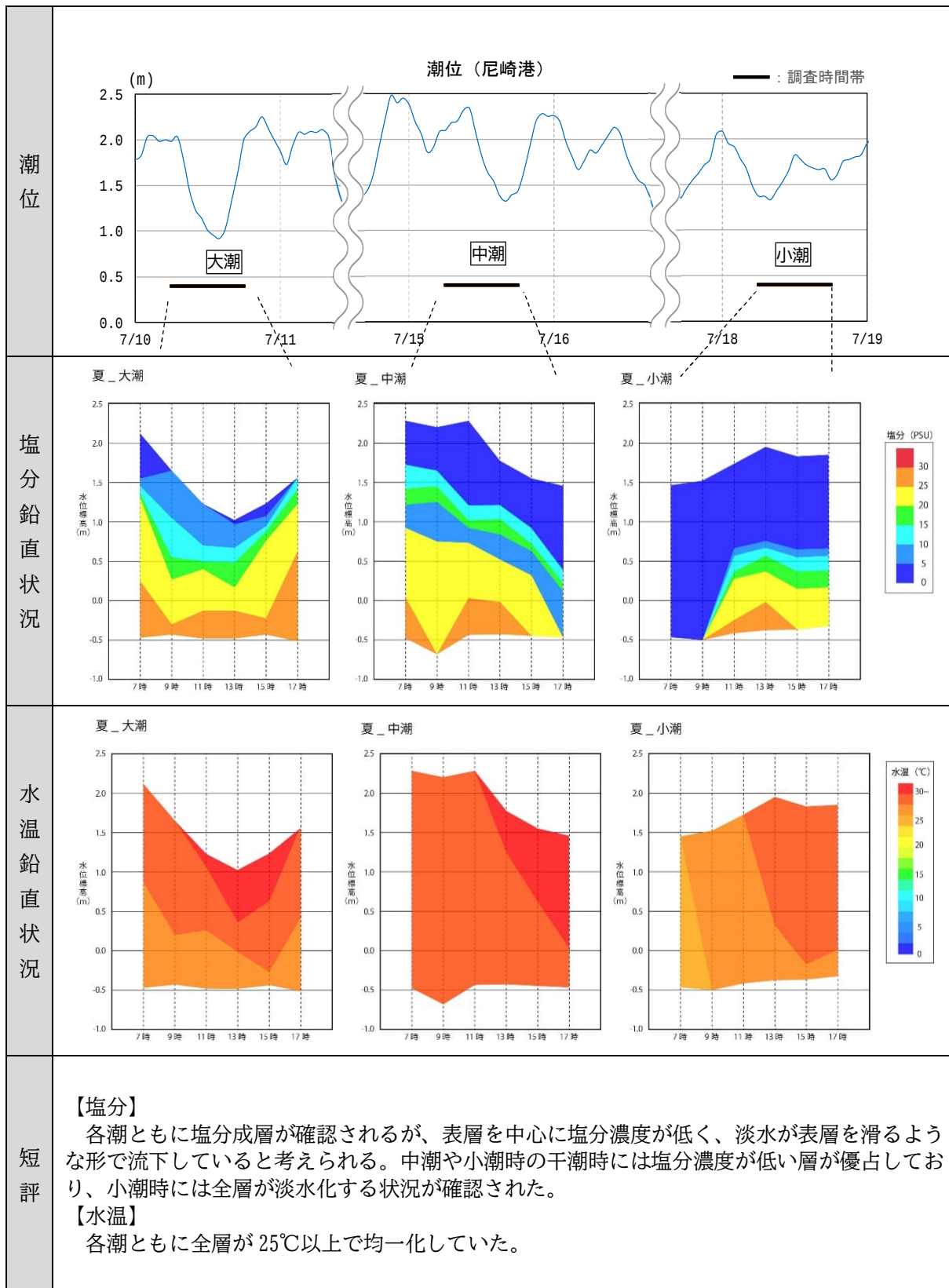


表 1.1-8 St.1（南武橋）における塩分・水温の鉛直分布【秋季】

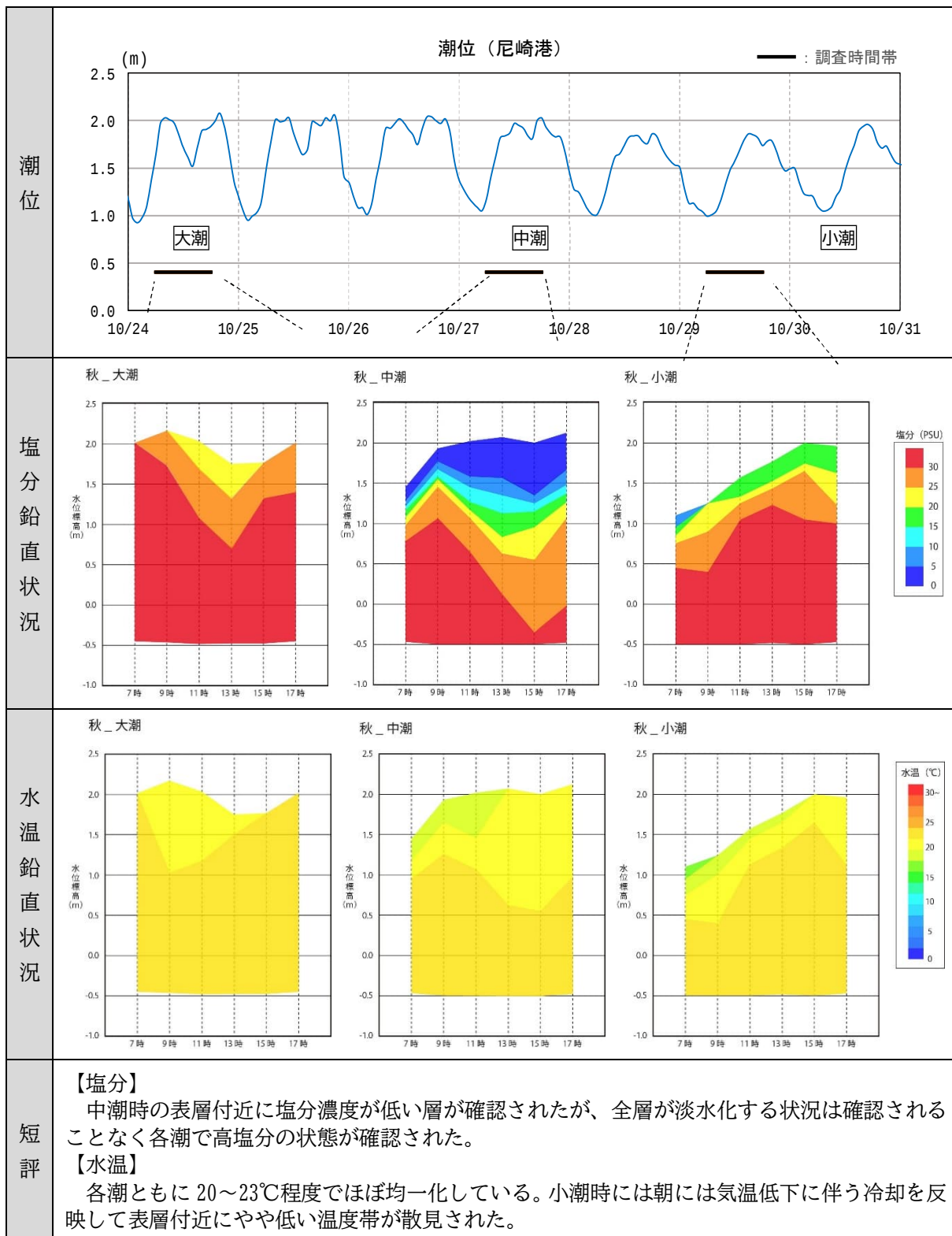
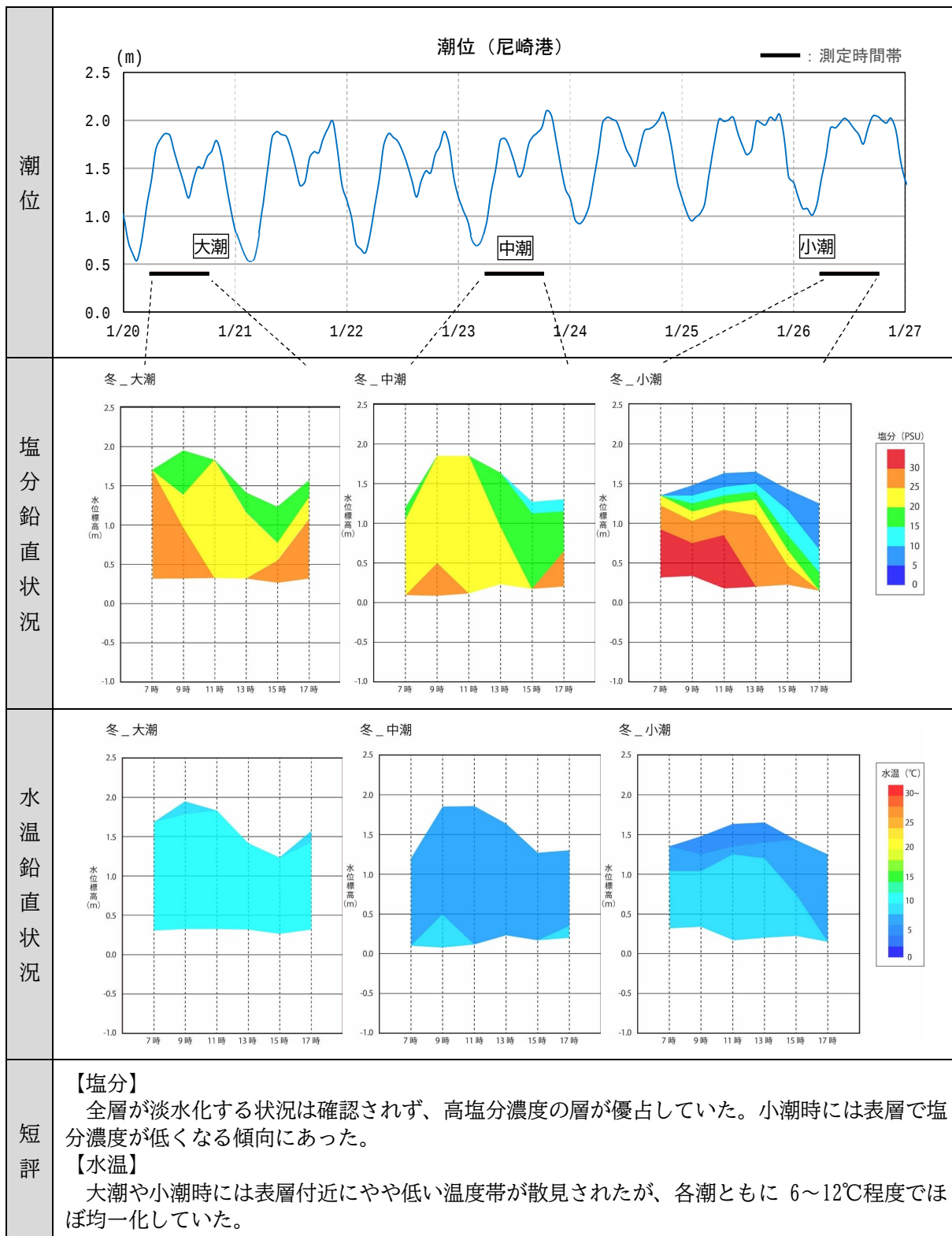


表 1.1-9 St.1 (南武橋) における塩分・水温の鉛直分布【冬季測定時】



1.2 採水調査

(1) 目的

対象区間における水質の現況を把握するために、各調査地点において採水による水質分析を実施した。

(2) 調査方法

① 調査概要

調査概要を表 1.2-1 に示す。

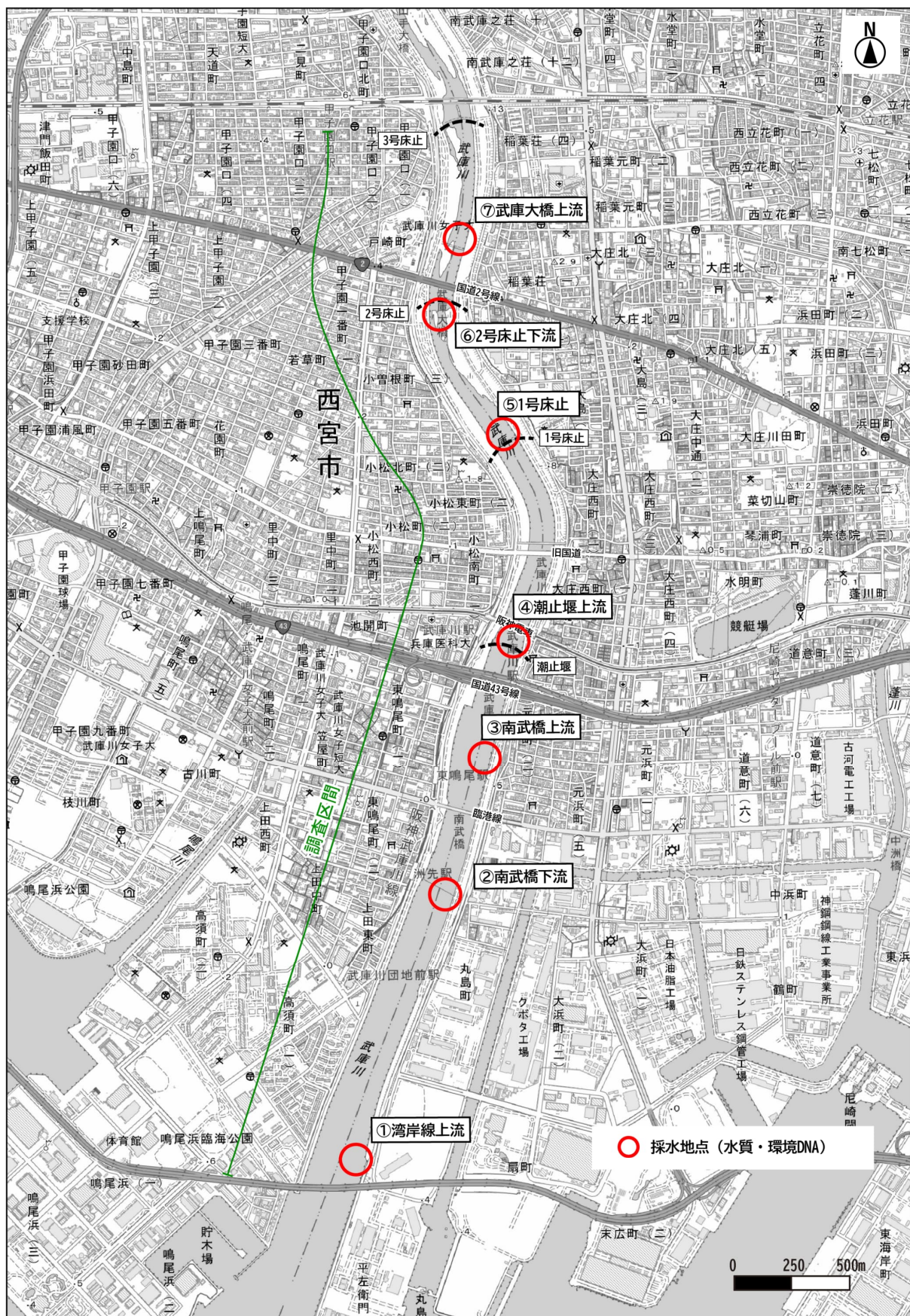
表 1.2-1 採水調査概要

項目	内容														
調査地点	7 地点（図 1.2-1） ① 湾岸線上流、② 南武橋下流、③ 南武橋上流、④ 潮止堰上流、⑤ 1 号床止、 ⑥ 2 号床止下流、⑦ 武庫大橋上流														
調査時期	調査地点①～⑥：3 季（夏、秋、冬）×大潮時 3 時間帯（満潮時、平均的潮位時、干潮時） 調査地点⑦：3 季（夏、秋、冬）×大潮時 1 時間帯（平均的潮位時） <table><tr><th>季節</th><th>潮名</th><th>調査日</th></tr><tr><td>夏季</td><td>大潮</td><td>令和 7 年 7 月 28 日（月）</td></tr><tr><td>秋季</td><td>大潮</td><td>令和 7 年 10 月 9 日（木）</td></tr><tr><td>冬季</td><td>大潮</td><td>令和 8 年 1 月 21 日（水）</td></tr></table>			季節	潮名	調査日	夏季	大潮	令和 7 年 7 月 28 日（月）	秋季	大潮	令和 7 年 10 月 9 日（木）	冬季	大潮	令和 8 年 1 月 21 日（水）
季節	潮名	調査日													
夏季	大潮	令和 7 年 7 月 28 日（月）													
秋季	大潮	令和 7 年 10 月 9 日（木）													
冬季	大潮	令和 8 年 1 月 21 日（水）													
調査時間	大潮時 3 時間帯（満潮時、平均的潮位時、干潮時）における昼間の時間帯。 ただし、調査地点⑦は、大潮時 1 時間帯（平均的潮位時）における昼間の時間帯のみ。														
調査方法	調査は「水質調査方法」（昭和 46 年 9 月 30 日 環境庁水質保全局長通達）に基づいた。 採水深度は、表層水若しくは水面から水深の 2 割程度の深さとした。														
分析項目	塩分、電気伝導度（EC）、生物化学的酸素要求量（BOD）、化学的酸素要求量（COD）、全窒素（T-N）、全りん（T-P）														
分析方法	JIS K 0102-1（2021 年）、JIS K 0102-2（2022 年）、海洋観測指針（気象庁 1999 年）														

② 調査地点

調査地点を図 1.2-1 に示す。

なお、調査地点のうち「④ 潮止堰上流」では、冬季調査時に付近で工事（潮止堰撤去工及び河床掘削等）が実施されていたため、冬季調査における調査地点を上流側（阪神電車鉄橋と武庫川橋（旧国道）との中間点付近）に移動させた。



出典：国土地理 Web。電子国土基本図を加工して作成。

図 1.2-1 採水調査地点

(3) 調査結果

各調査地点における調査結果の概要を表 1.2-4、調査結果の総括を表 1.2-5、各項目の結果を図 1.2-4～1.2-10 に示す。

各水質調査結果は、調査区間の下流域に位置する調査地点①～③、中流域に位置する調査地点④、⑤、そして上流域に位置する調査地点⑥、⑦のそれぞれで概ね類似した結果となった。

調査地点①～③では、年間通じて塩分、EC が高い値であった。また、BOD、COD、T-N、T-P は上流に位置する調査地点に比べてやや高い傾向にあった。

調査地点④、⑤では、塩分、EC は調査地点①～③に比べると低い値であるが、年間を通じて比較的高い値が確認され、海水の遡上（潮汐の影響）があったと考えられた。

調査地点⑥、⑦では、各項目とも年間を通じて低く推移しており、水温は、秋季から冬季にかけて調査地点①～③に比べると低い値であった。各項目とも 1 日における変動も少なく、海水の遡上の影響は確認されなかった。

表 1.2-4 各地点における採水調査結果の概要

地点	項目	結果概要
①湾岸線上流	塩分、EC	夏季にはやや低い値（塩分：14.9、EC：2200mS/m）であったが、年間を通じて高い値であった。 潮汐による変動は小さい。
	BOD、COD	夏季にやや高く、冬季に低くなる傾向にあった。
	T-N、T-P	夏季にやや高く、冬季に低くなる傾向にあった。
②南武橋下流	塩分、EC	夏季にはやや低い値（塩分：10.6、EC：1700mS/m）が確認されたが、年間を通じて高い値であった。 潮汐による変動は小さい。
	BOD、COD	夏季にやや高く、冬季に低くなる傾向にあった。 夏季や秋季には干潮時にやや高い傾向にあったが、各潮ともに1日における変動は少ない。
	T-N、T-P	T-Nは年間通じて、0.41～0.53mg/Lで推移し、季節・潮汐による変動はみられない。 T-Pは冬季に低くなる傾向にあった。
③南武橋上流	塩分、EC	夏季にはやや低い値（塩分：6.3、EC：1000mS/m）が確認されたが、年間を通じて高い値であった。
	BOD、COD	秋季の平均的潮位と干潮にやや高い値（BOD：5.9～6.9mg/L、COD：5.5～6.0mg/L）が確認されたが、夏季や冬季では1日における変動は少ない。
	T-N、T-P	T-Nは秋季の平均的潮位にやや高い値（0.73mg/L）が確認されたが、各季節で大きな差異はみられない。 T-Pは冬季にやや低くなる傾向にあった。
④潮止堰上流 ⑤1号床止	塩分、EC	年間を通じて塩分：1.0～22.4、EC：190～2700mS/mが確認され、海水の遡上が確認された。 1日における変動も確認され、これらの地点で遡上した海水と淡水が混合していると考えられた。
	BOD、COD	夏季にやや高く、冬季に低くなる傾向にあった。
	T-N、T-P	T-Nは冬季に高くなる傾向にあったが、T-Pに冬季に低くなる傾向にあった。
⑥2号床止下流 ⑦武庫大橋上流	塩分、EC	年間を通じて低い値であり、海水の遡上は確認されなかった。
	BOD、COD	BODは0.6～2.1mg/L、CODは3.4～5.1mg/Lと濃度が低く、変動も比較的少ない。
	T-N、T-P	T-Nは冬季にやや高くなったが比較的低濃度で推移した。 T-Pは0.009～0.027mg/Lと低濃度で推移した。

表 1.2-5 採水調査結果総括

項目 (単位) 地点	水温 (℃)	塩分 (-)	EC (mS/m)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)
①湾岸線上流	7.7～32.9 [21.6]	14.9～30.7 [25.1]	2200～3800 [3200]	0.6～6.1 [2.7]	2.2～6.7 [4.0]	0.33～1.0 [0.64]	0.031～0.24 [0.11]
②南武橋下流	8.4～34.0 [22.1]	10.6～30.1 [22.9]	1700～3700 [2900]	1.2～4.8 [2.8]	2.7～7.6 [4.4]	0.41～0.53 [0.48]	0.038～0.11 [0.080]
③南武橋上流	8.7～34.0 [21.9]	6.3～27.4 [19.0]	1000～3400 [2400]	0.6～6.9 [3.1]	2.7～6.3 [4.6]	0.37～0.73 [0.52]	0.019～0.13 [0.073]
④潮止堰上流	3.4～34.1 [20.7]	1.0～22.4 [8.5]	200～2700 [1200]	<0.5～3.7 [1.8]	3.6～5.5 [4.4]	0.29～0.70 [0.51]	0.011～0.074 [0.044]
⑤1号床止	3.6～33.2 [20.6]	1.0～18.8 [4.4]	190～2300 [700]	<0.5～2.7 [1.3]	3.4～5.6 [4.3]	0.29～0.55 [0.43]	0.018～0.064 [0.032]
⑥2号床止下流	4.6～33.4 [20.7]	<0.5～<0.5 [0.5]	31～48 [39]	0.7～2.1 [1.2]	3.4～5.1 [4.3]	0.27～0.54 [0.40]	0.009～0.026 [0.018]
⑦武庫大橋上流	6.2～31.6 [20.1]	<0.5～<0.5 [0.5]	33～48 [39]	0.6～1.9 [1.1]	3.4～4.7 [4.1]	0.29～0.56 [0.41]	0.010～0.027 [0.018]

備考1:「<」は定量下限値未満を示す。

備考2:[]内の数値は平均値を示す。

備考3:平均値は、定量下限値未満の場合は定量下限値により求めた。

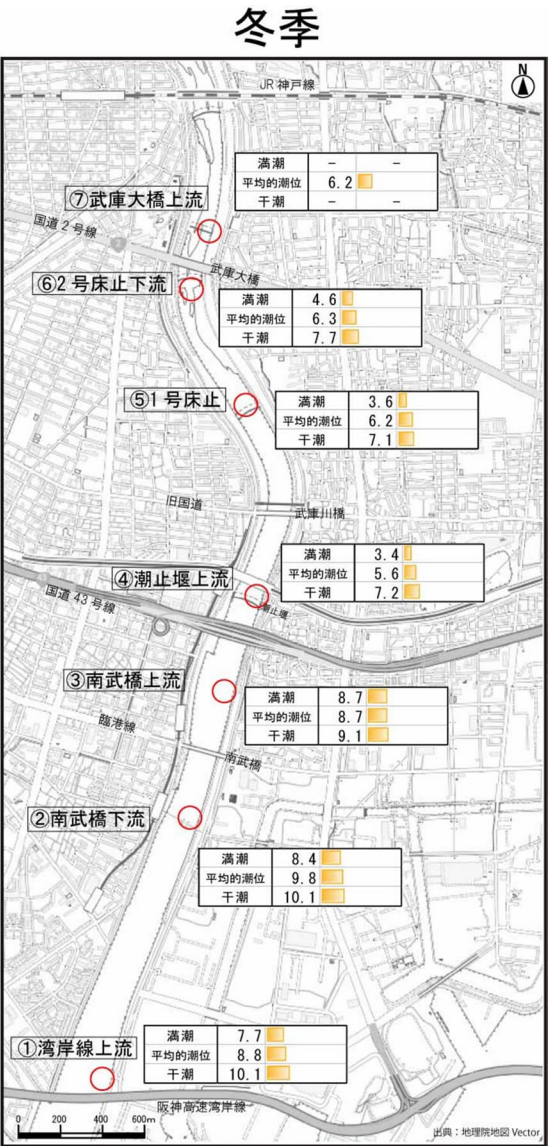
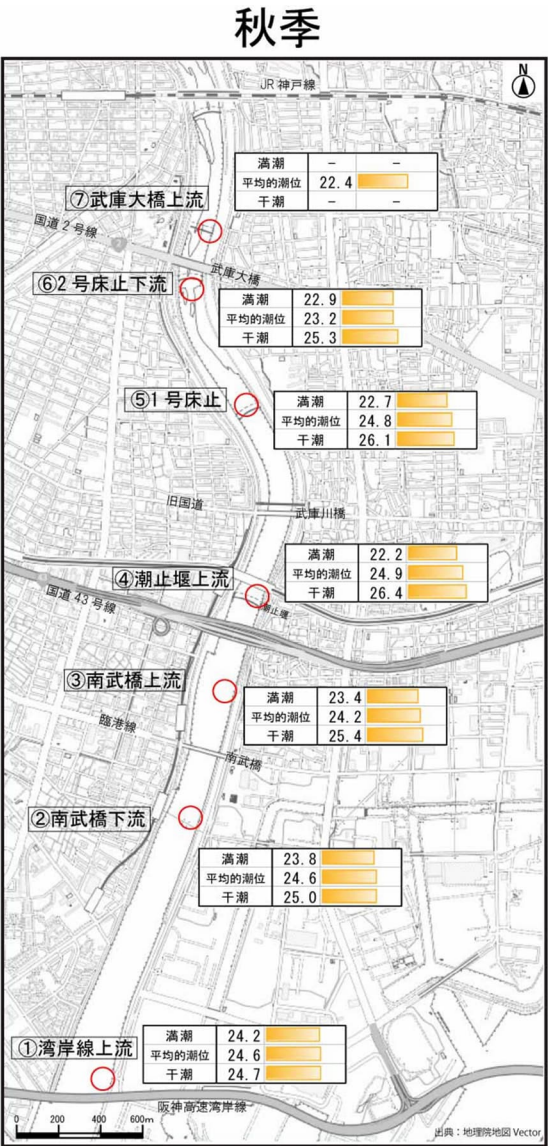
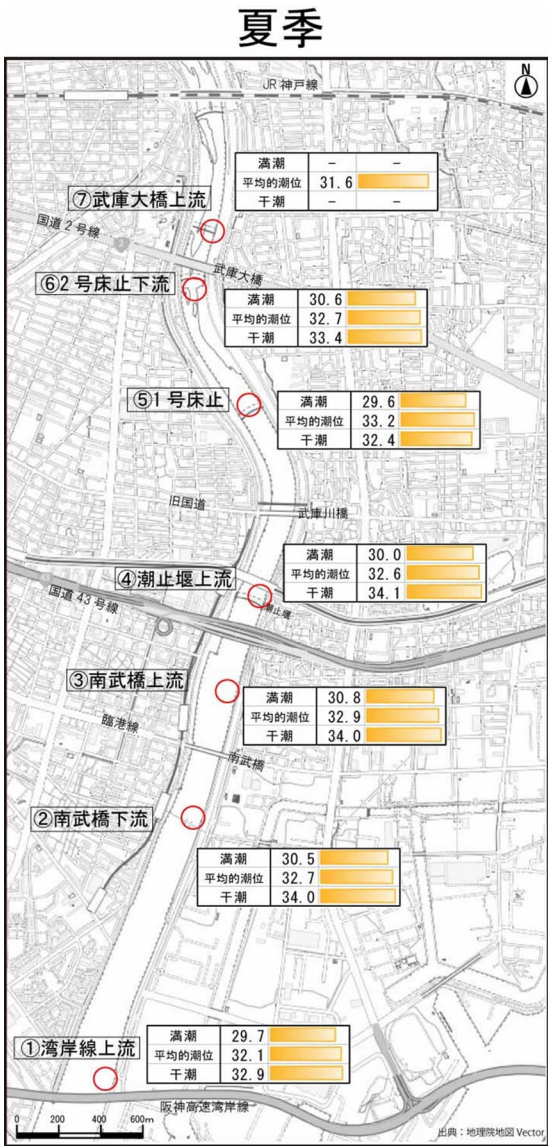


図 1.2-4 採水調査結果_水温(単位:℃)

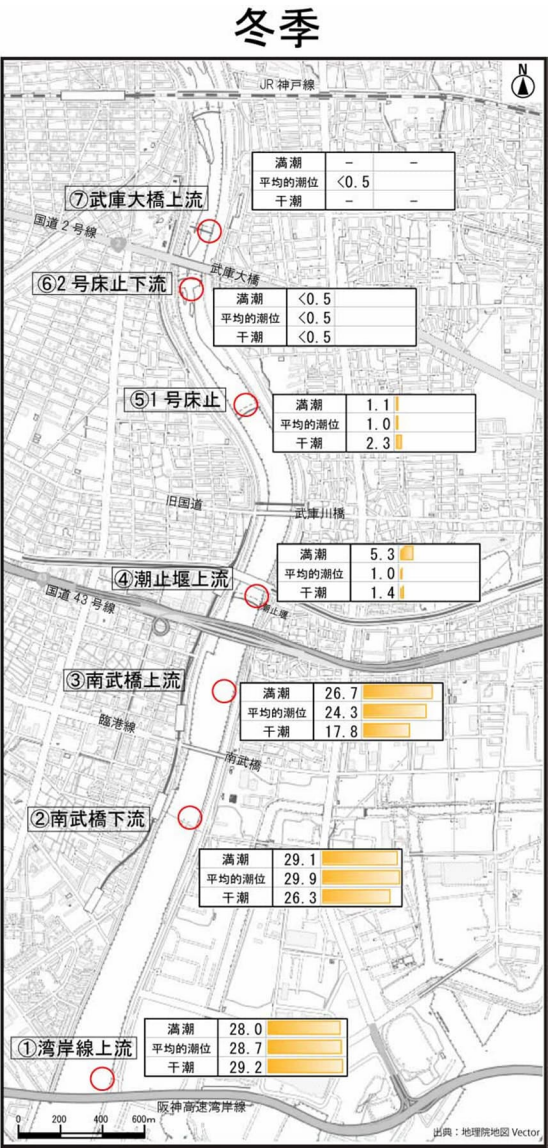
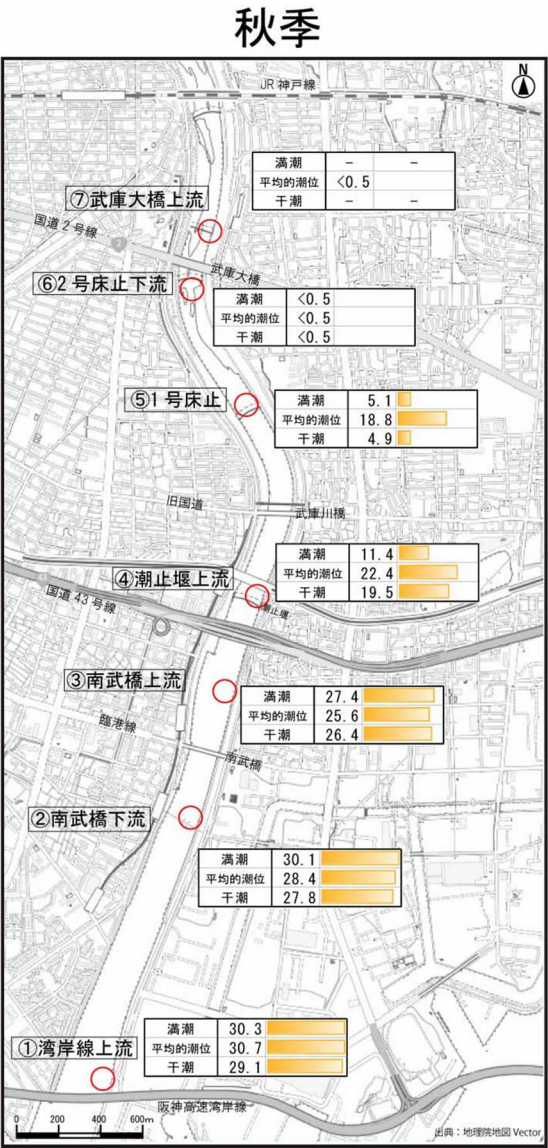
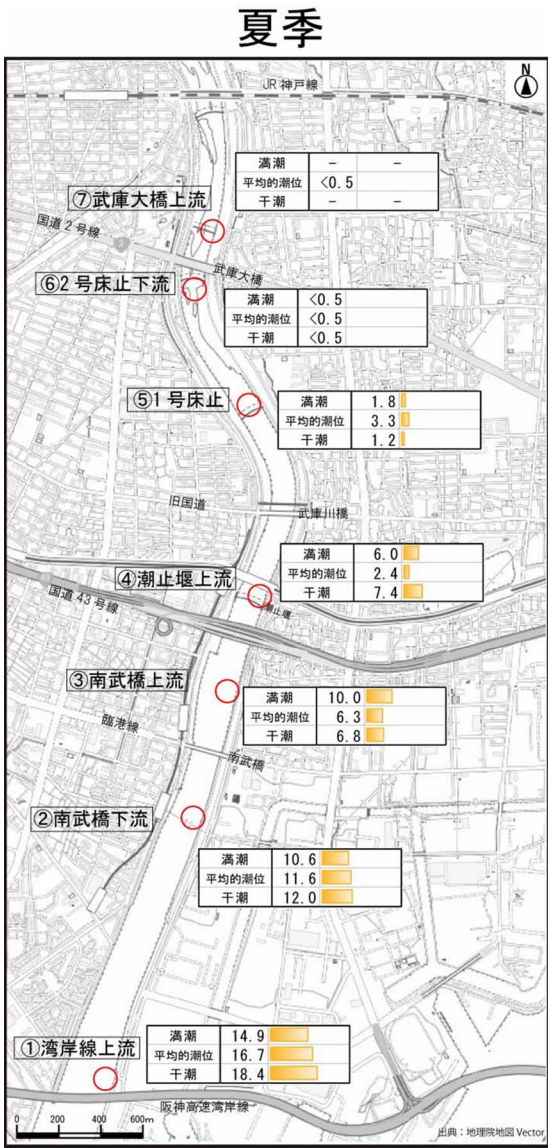
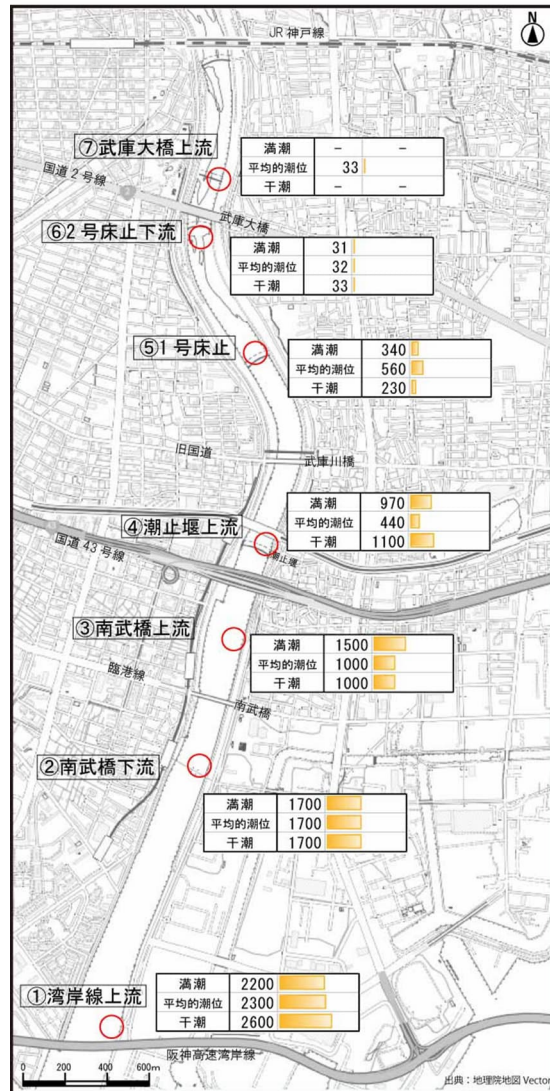
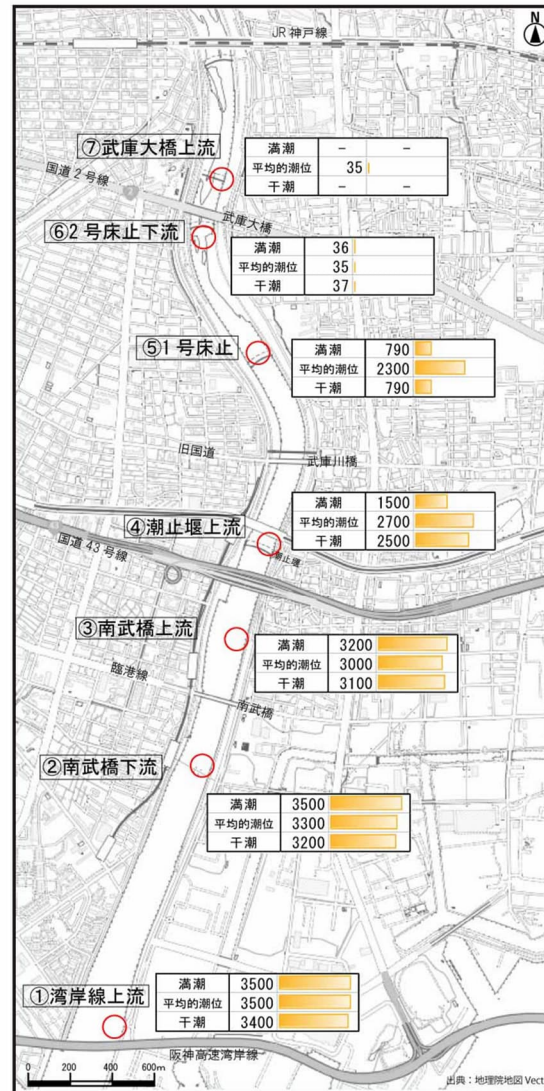


図 1.2-5 採水調査結果_塩分

夏季



秋季



冬季

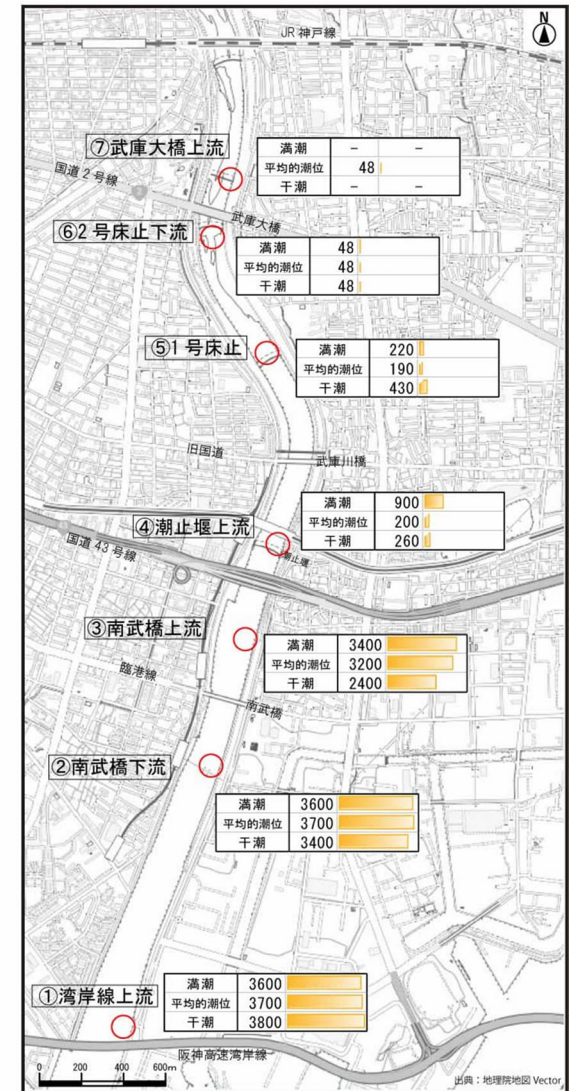


図 1.2-6 採水調査結果_EC (単位:mS/m)

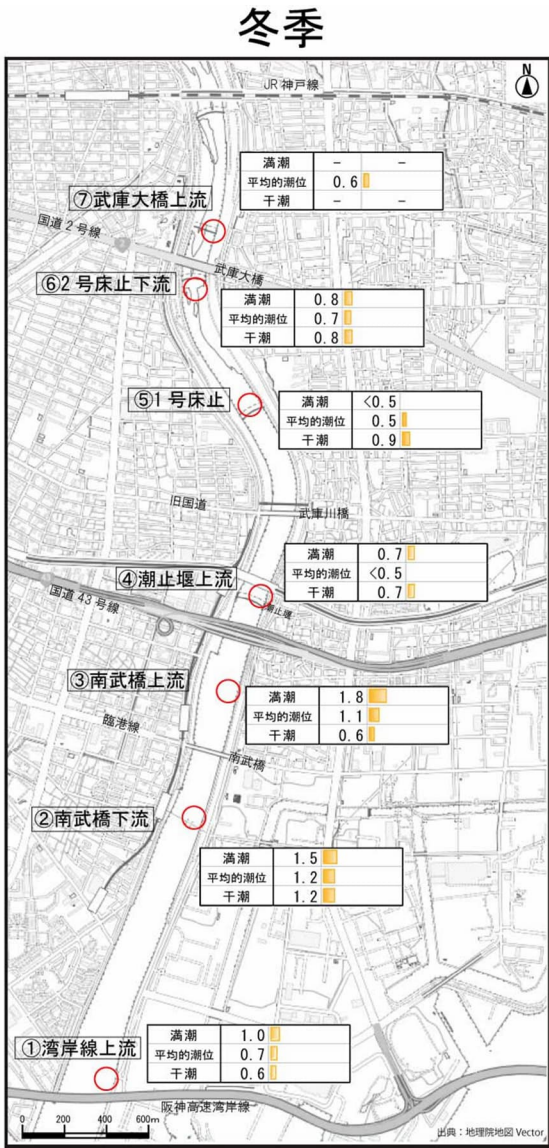
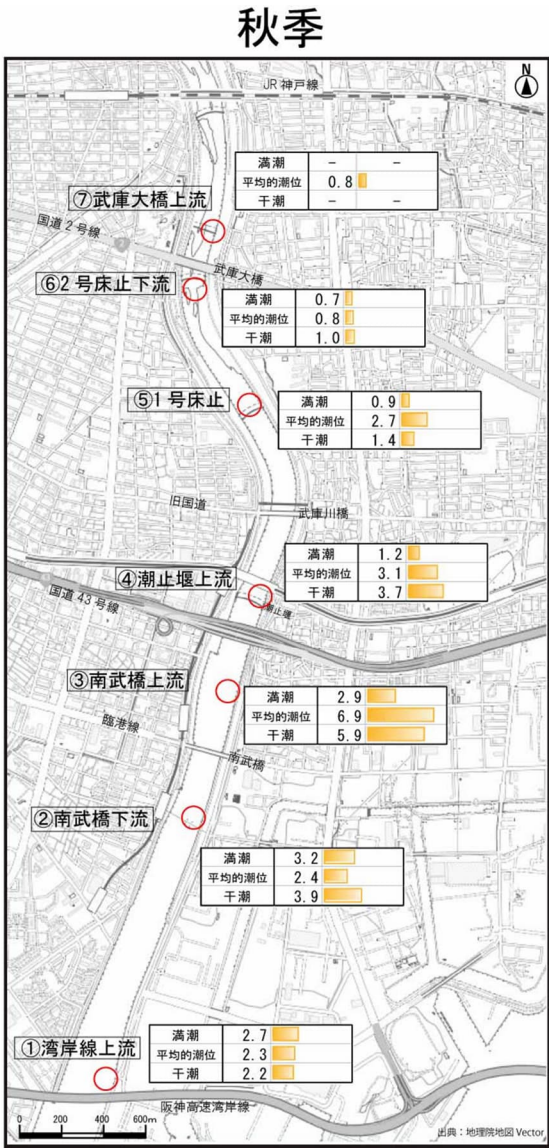
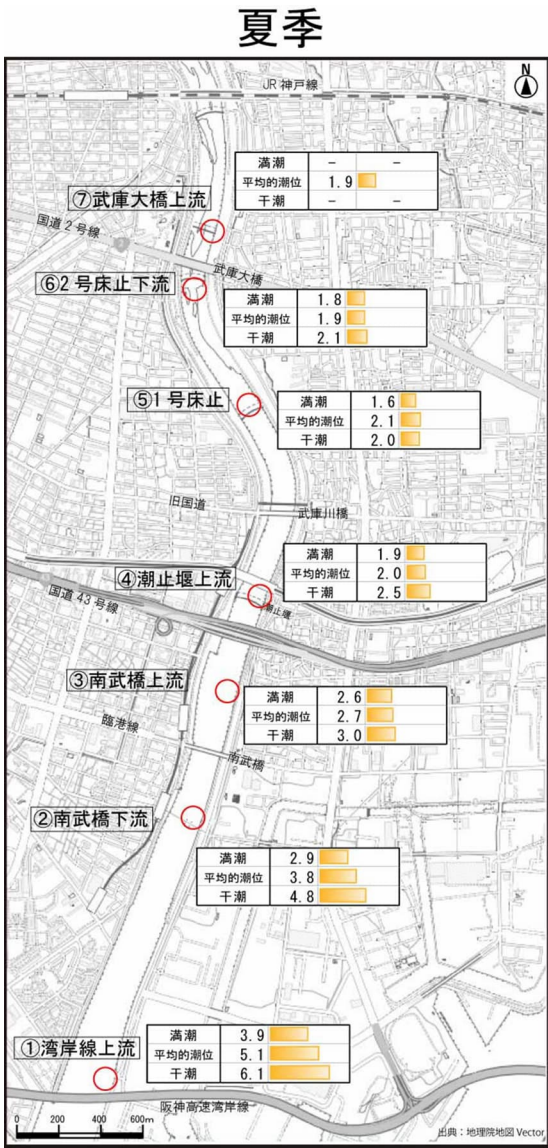


図 1.2-7 採水調査結果_BOD (単位: mg/L)

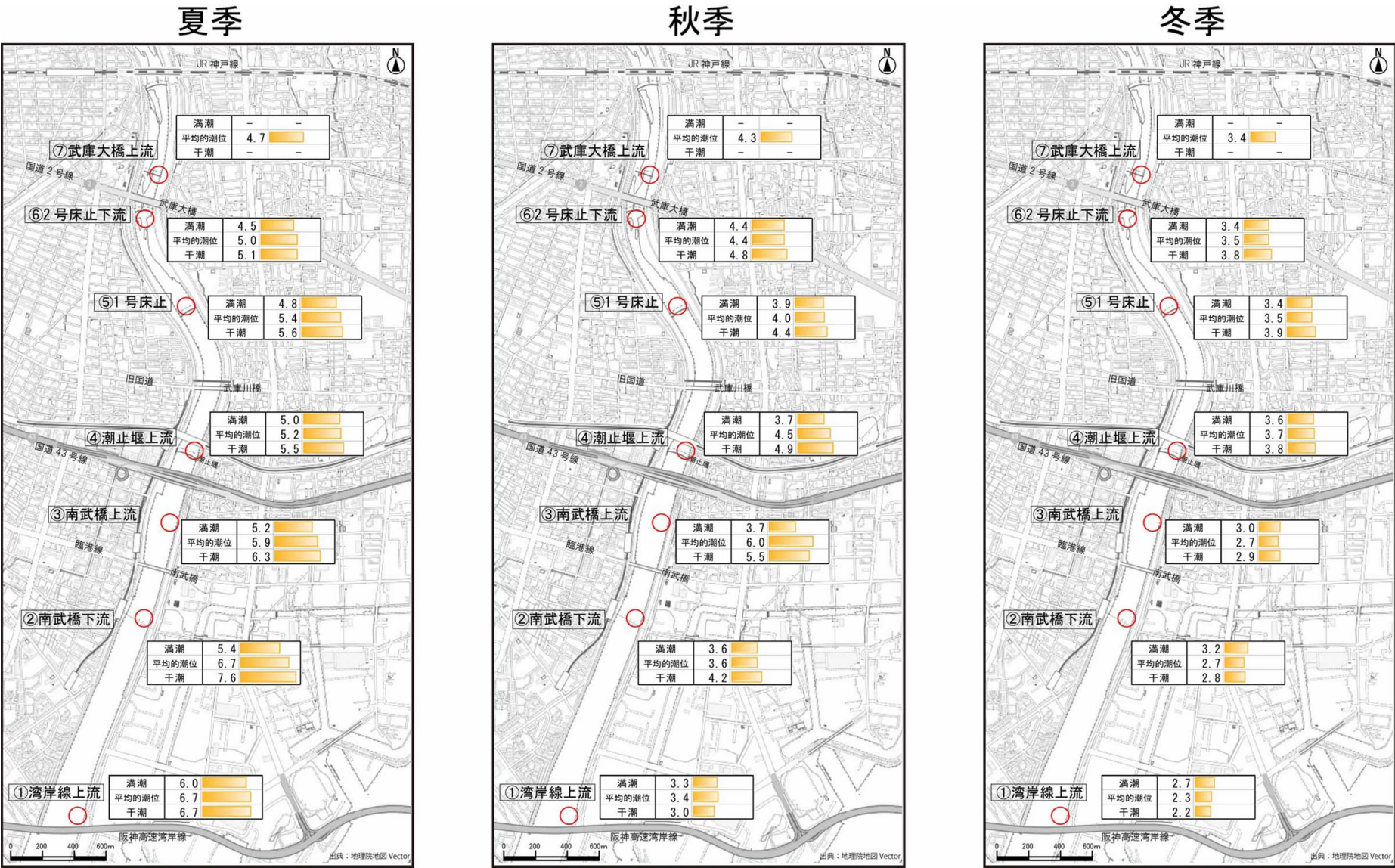
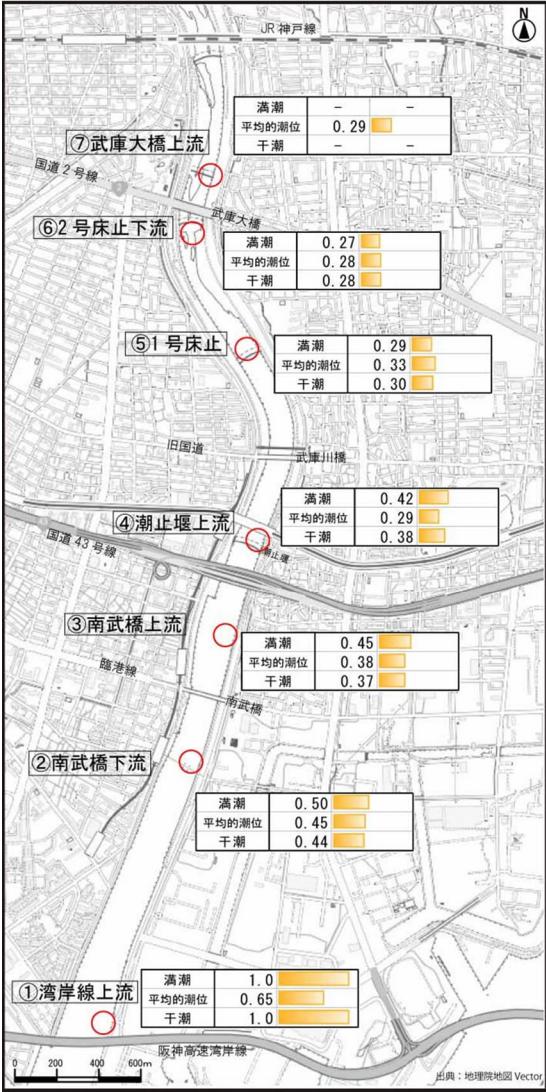
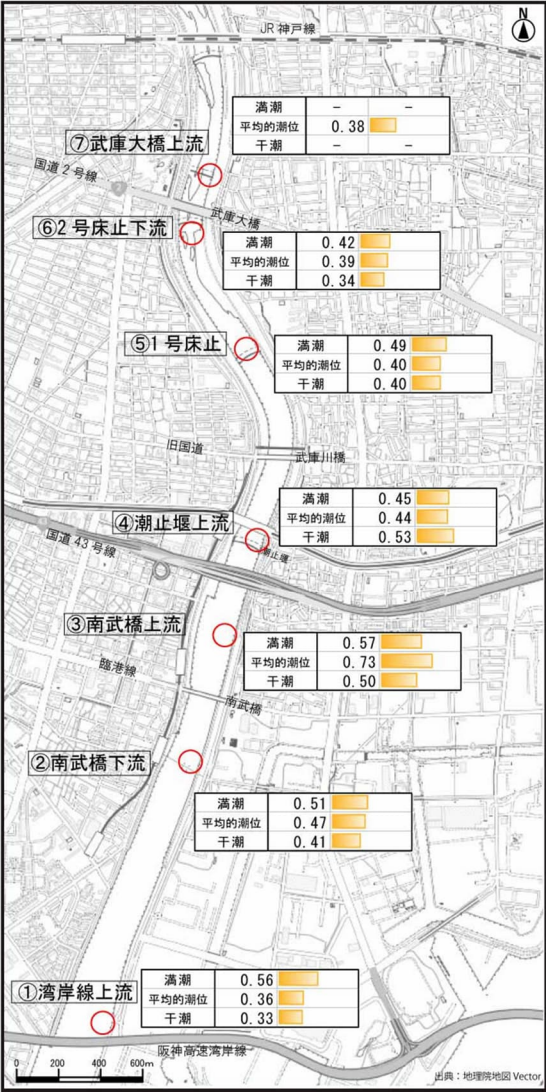


図 1.2-8 採水調査結果_COD (単位: mg/L)

夏季



秋季



冬季

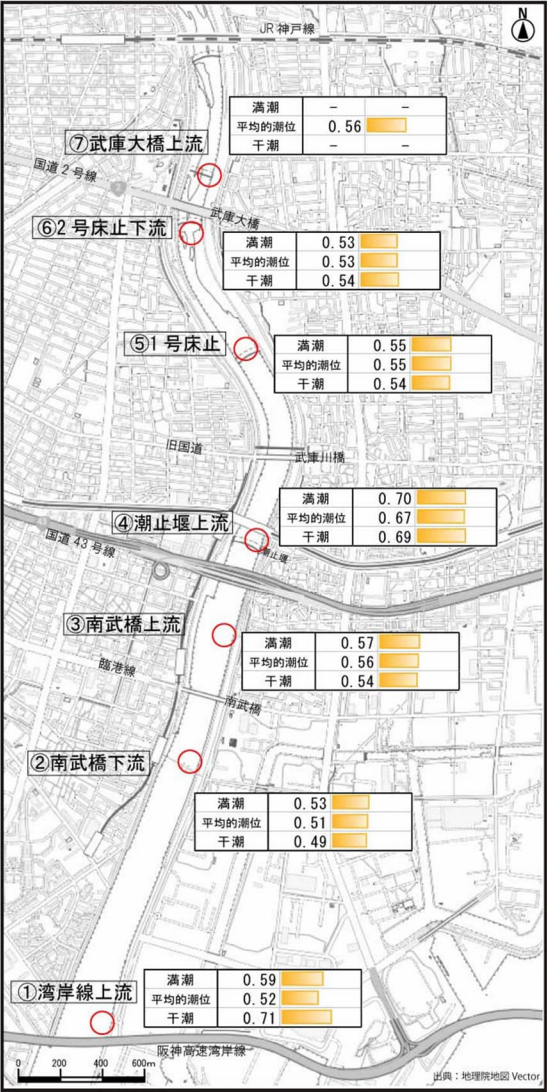
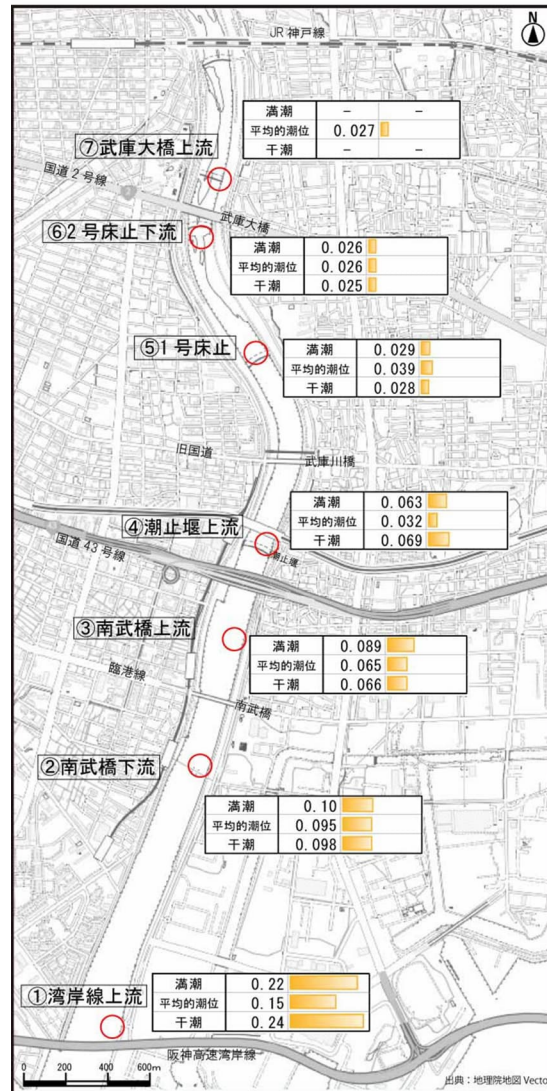
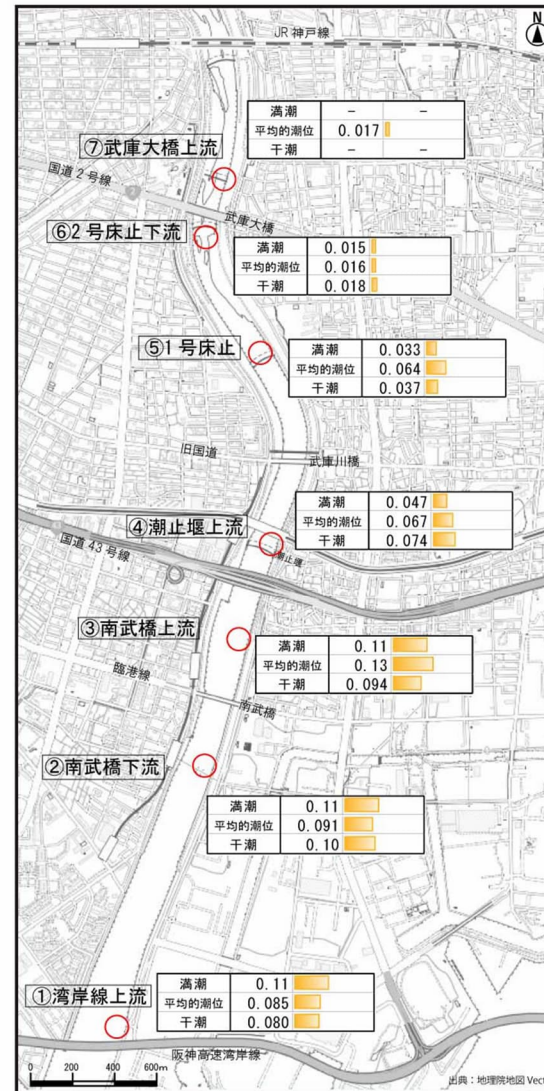


図 1.2-9 採水調査結果_T-N (単位：mg/L)

夏季



秋季



冬季

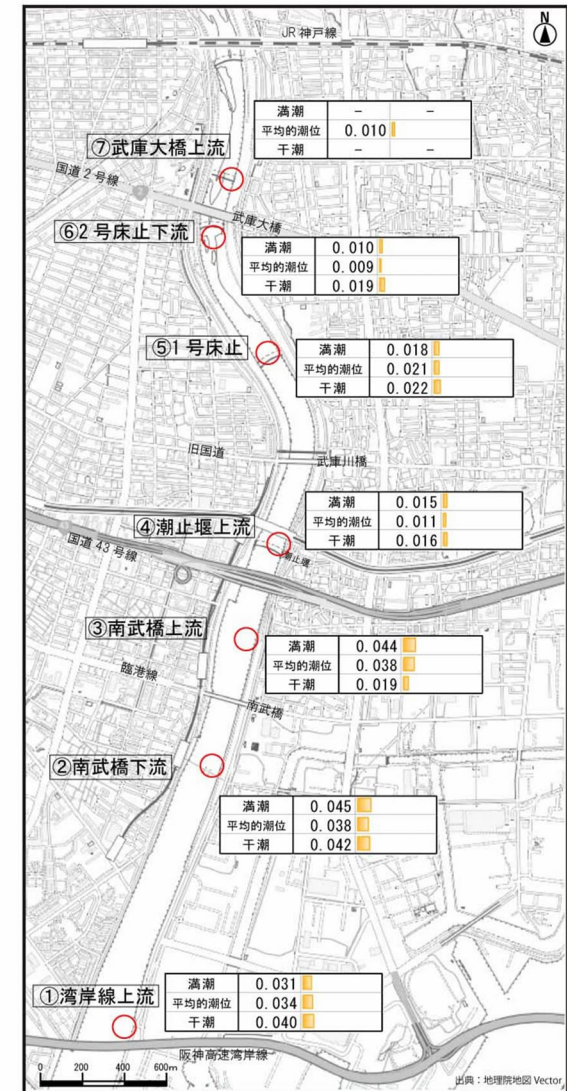


図 1.2-10 採水調査結果_T-P (単位: mg/L)

潮止堰倒伏前後の調査結果の比較

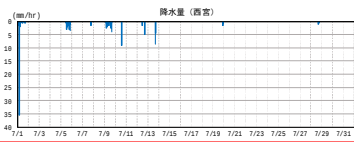
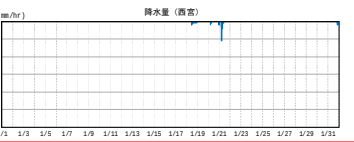
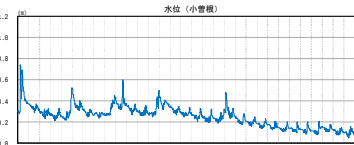
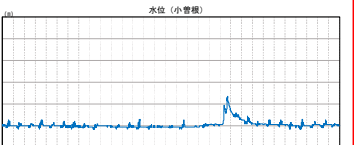
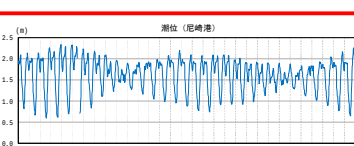
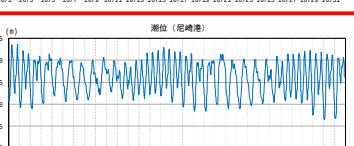
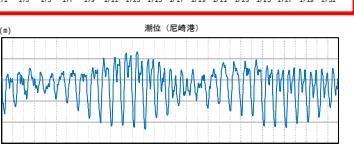
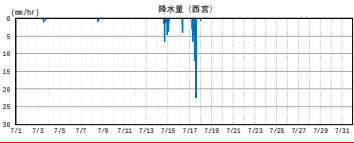
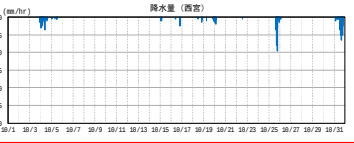
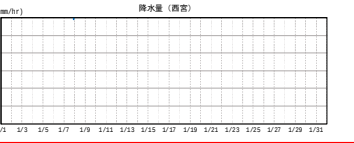
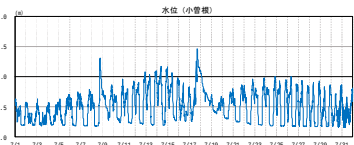
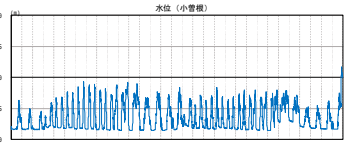
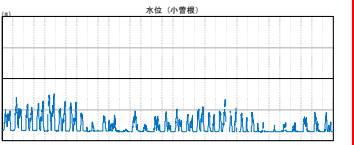
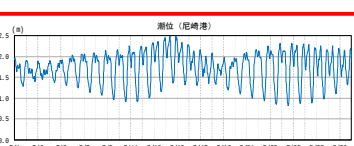
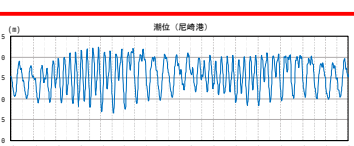
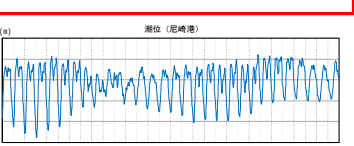
(1) 小曽根局における水位の状況

河川水位について、小曽根局における令和 5 年度と令和 7 年度の状況を表 1.3-1 に示す。

水位は、令和 5 年度では日変動が小さく数 cm 程度で推移していたが、降雨後には大きく変動する傾向がみられた。一方、今年度では日変動が大きく、日によって数 cm～80cm 程度の変動が確認された。

これらの水位変動は潮汐変動とよく似た挙動を示しており、今年度には小曽根水位局付近では潮汐の影響を受けていたと考えられる。また、センサー測定や採水調査における塩分濃度結果からも 1 号床止付近への海水の遡上が確認されていることから、海水の遡上は小曽根水位局付近まで及んでいたと考えられる。

表 1.3-1 小曽根局における水位の状況（令和 5 年度と令和 7 年度の比較）

年度	夏季	秋季	冬季
R5			
			
			
	R5.7月のデータ	R5.10月のデータ	R6.1月のデータ
R7			
			
			
	R7.7月のデータ	R7.10月のデータ	R8.1月のデータ

備考：各行のグラフは、上段は降水量（西宮）、中段は水位（小曽根）、下段は潮位（尼崎）を示す。

(2) センサー測定結果の状況

センサー測定結果（塩分）の令和5年度と令和7年度の比較を表1.3-2に示す。

令和5年度には、St.2、St.3及びSt.4のいずれにおいても年間をとおして塩分は確認されなかった（ただし、St.2では秋季の大潮時に痕跡程度のごくわずかな塩分が認められた）。

一方、令和7年度は状況が大きく異なり、St.2では年間をとおして高濃度の塩分が継続的に確認された。さらに、St.3でも秋季に高濃度の塩分が確認され、両地点において海水の遡上が確認された。なお、St.4では令和5年度に引き続き今年度も塩分は確認されなかった。

こうした塩分濃度の結果は、潮止堰及び1号床止の撤去を反映しており、海水の遡上が1号床止上流付近まで及んでいたことを示唆していると考えられる。

表1.3-2 センサー測定による塩分の結果の比較（令和5年度と今年度の比較）

季節	地点	R5			R7		
		大潮	中潮	小潮	大潮	中潮	小潮
春季	St.1 南武橋	1～28	1～31	2～30	—	—	—
	St.2 武庫川橋	<1	<1	<1			
	St.3 1号床止上流	<1	<1	<1			
	St.4 武庫大橋	<1	<1	<1			
夏季	St.1 南武橋	1～32	1～34	<1～32	1～27	<1～26	<1～26
	St.2 武庫川橋	<1	<1	<1	<1～21	<1～21	<1
	St.3 1号床止上流	<1	<1	<1	<1	<1	<1
	St.4 武庫大橋	<1	<1	<1	<1	<1	<1
秋季	St.1 南武橋	5～30	19～31	11～29	22～33	1～33	12～33
	St.2 武庫川橋	<1～4	<1	<1	11～32	<1～29	1～31
	St.3 1号床止上流	<1	<1	<1	4～29	<1	<1～19
	St.4 武庫大橋	<1	<1	<1	<1	<1	<1
冬季	St.1 南武橋	16～30	13～29	16～30	17～30	14～26	8～32
	St.2 武庫川橋	<1	<1	<1	10～22	1～19	1～15
	St.3 1号床止上流	<1	<1	<1	1～20	5～16	<1～13
	St.4 武庫大橋	<1	<1	<1	<1	<1	<1

備考1：単位はPSU。

備考2：セルの着色は、塩分が確認されたことを示す。

(3) 採水調査結果の状況

採水調査結果の令和5年度と令和7年度の結果一覧を表1.3-3に示す。また、採水調査結果（項目別）の令和5年度と令和7年度の結果を図1.3-1、図1.3-2に示す。

BOD、COD、T-N及びT-Pについては、今年度と令和5年度では濃度の変動幅に若干の違いがみられたものの、両年度間の平均値は大きな差異が認められず、両年度ともに概ね良好な水質状況であった。

一方、塩分とECは、両年度で調査地点⑥、⑦では大きな違いは確認されなかったが、調査地点①～⑤では次のとおり明確な違いが確認され、塩分の遡上の影響が確認された。

- ・調査区間の下流域に位置する調査地点①～③では、令和5年度には干潮時を中心に低い値が確認されていたが、令和7年度には低い値が確認されなくなり、各調査で年間を通じて比較的高い値を示した。
- ・調査地点④では、令和5年度には痕跡程度の海水（塩分：0.9、EC：150mS/m）が確認されることがあったものの、年間通じて低い値で推移していた。しかし、令和7年度には高い値（塩分：22.4、EC：2700mS/m）が確認されるようになった。
- ・調査地点⑤では、令和5年度には年間を通じて塩分、ECともに低濃度であったが、令和7年度には比較的高い値が確認され、海水の遡上が確認された。

こうした塩分濃度とECの結果は、潮止堰及び1号床止の撤去を反映しており、海水の遡上が1号床止付近に及んでいたことを示唆していると考えられる。

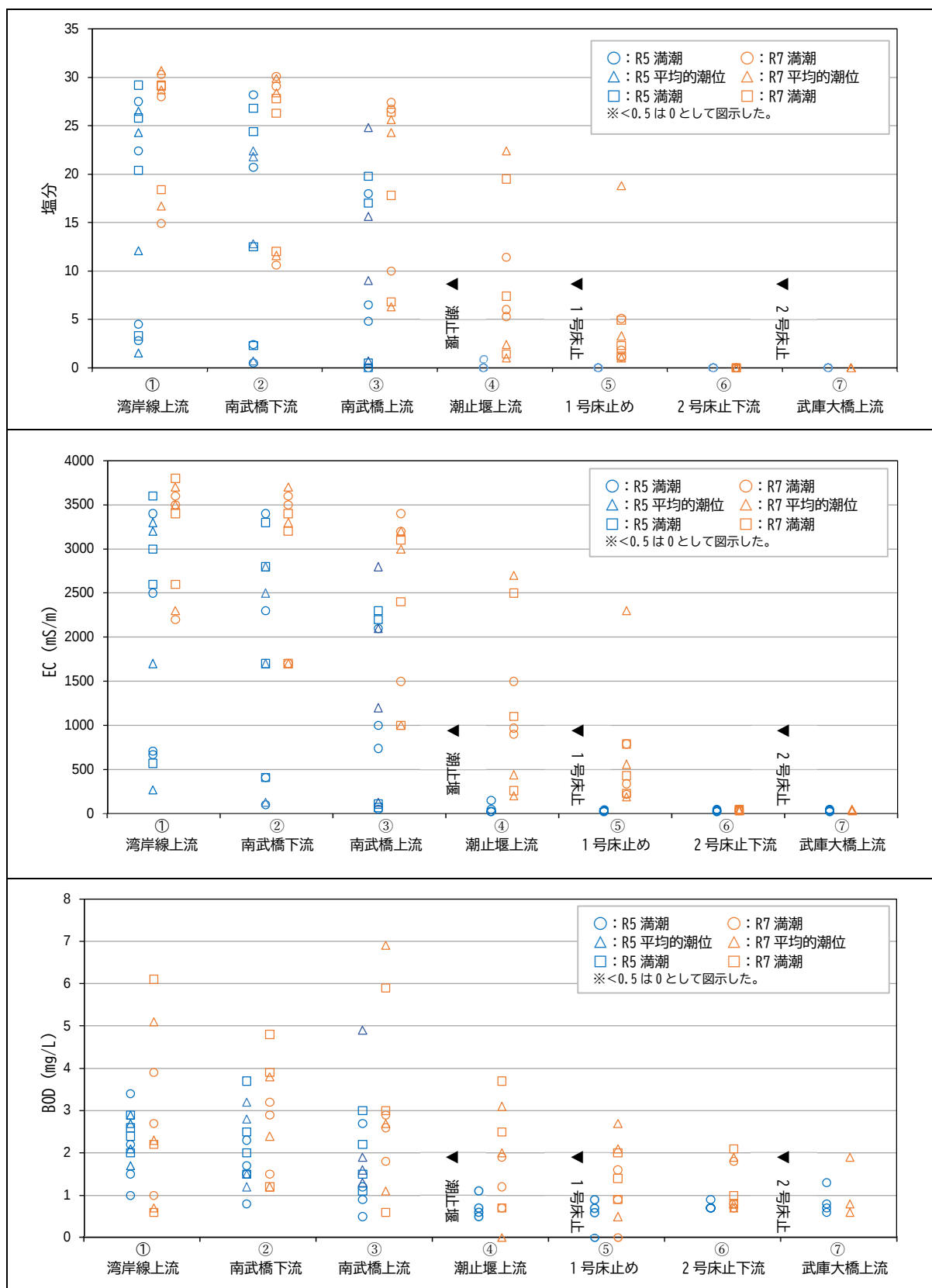


図 1.3-1 採水調査結果の比較（塩分、EC、BOD）

表 1.3-3 採水調査結果の比較（令和 5 年度と令和 7 年度の比較）

項 目 (単位) 地点		水温 (℃)	塩分 (-)	EC (mS/m)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)
① 湾岸線上 流	R5	9.4~30.6 [21.1]	1.5~29.2 [16.7]	270~3600 [2100]	1.0~3.4 [2.3]	3.2~5.6 [4.1]	0.21~1.0 [0.56]	0.035~0.11 [0.071]
	R7	7.7~32.9 [21.6]	14.9~30.7 [25.1]	2200~3800 [3200]	0.6~6.1 [2.7]	2.2~6.7 [4.0]	0.33~1.0 [0.64]	0.031~0.24 [0.11]
② 南武橋下 流	R5	10.2~30.9 [21.4]	0.5~28.2 [14.6]	100~3400 [1800]	0.8~3.7 [2.1]	2.3~4.4 [3.8]	0.24~0.75 [0.51]	0.029~ 0.091 [0.059]
	R7	8.4~34.0 [22.1]	10.6~30.1 [22.9]	1700~3700 [2900]	1.2~4.8 [2.8]	2.7~7.6 [4.4]	0.41~0.53 [0.48]	0.038~0.11 [0.080]
③ 南武橋上 流	R5	7.4~30.5 [20.9]	<0.5~24.8 [9.8]	50~2800 [1200]	0.5~4.9 [1.9]	2.2~4.9 [3.8]	0.19~0.84 [0.53]	0.021~0.11 [0.050]
	R7	8.7~34.0 [21.9]	6.3~27.4 [19.0]	1000~3400 [2400]	0.6~6.9 [3.1]	2.7~6.3 [4.6]	0.37~0.73 [0.52]	0.019~0.13 [0.073]
④ 潮止堰上 流	R5	7.9~29.1 [20.1]	<0.5~0.9 [0.6]	22~ 150 [48]	0.5~1.1 [0.8]	3.0~4.2 [3.7]	0.20~0.89 [0.39]	0.014~ 0.032 [0.018]
	R7	3.4~34.1 [20.7]	1.0~22.4 [8.5]	200~2700 [1200]	<0.5~3.7 [1.8]	3.6~5.5 [4.4]	0.29~0.70 [0.51]	0.011~ 0.074 [0.044]
⑤ 1号床止	R5	6.9~27.1 [19.1]	<0.5 [0.5]	21~ 47 [29]	<0.5~0.9 [0.8]	2.9~3.9 [3.5]	0.19~1.0 [0.39]	0.011~ 0.025 [0.015]
	R7	3.6~33.2 [20.6]	1.0~18.8 [4.4]	190~2300 [700]	<0.5~2.7 [1.3]	3.4~5.6 [4.3]	0.29~0.55 [0.43]	0.018~ 0.064 [0.032]
⑥ 2号床止 下流	R5	7.3~26.9 [19.1]	<0.5 [0.5]	22~49 [30]	0.7~1.2 [0.9]	3.2~3.9 [3.5]	0.19~1.0 [0.40]	0.010~ 0.023 [0.013]
	R7	4.6~33.4 [20.7]	<0.5~<0.5 [0.5]	31~48 [39]	0.7~2.1 [1.2]	3.4~5.1 [4.3]	0.27~0.54 [0.40]	0.009~ 0.026 [0.018]
⑦ 武庫大橋 上流	R5	6.8~27.1 [19.2]	<0.5 [0.5]	22~49 [30]	0.6~1.3 [0.9]	3.4~4.1 [3.7]	0.20~1.1 [0.43]	0.007~ 0.026 [0.014]
	R7	6.2~31.6 [20.1]	<0.5~<0.5 [0.5]	33~48 [39]	0.6~1.9 [1.1]	3.4~4.7 [4.1]	0.29~0.56 [0.41]	0.010~ 0.027 [0.018]

備考 1:「<」は定量下限値未満を示す。

備考 2:「」内の数値は平均値を示す。

備考 3:平均値は、定量下限値未満の場合は定量下限値により求めた。

備考 4:R5 の④~⑦では、春季は 3 時間帯（満潮、平均的潮位、干潮）の実施、夏季、秋季及び冬季は 1 時間帯（満潮）の実施。

備考 5:R7 の⑦では、1 時間帯（平均的潮位）の実施。